



啓北中「6つの行動指針」 すべての教育活動を この考えのもと推進していきます。

- 01 **学ぼう** (子どもも教師も学ぼう)
- 02 **育てよう** (未来を生き抜く子どもに必要な資質・能力を育てよう)
- 03 **楽しもう** (子どもも教師も楽しもう)
- 04 **聞こう** (意見や悩み事など、子どもの声に耳を傾けよう)
- 05 **寄り添おう** (相手の立場になって考えよう)
- 06 **つながろう** (子ども同士をつなぐとともに、地域に、社会につなげよう)

心から笑い、心が震えた ～学校祭～

心から笑うって、どんな時にあるだろうか・・・

心が震えるって、どんな時に感じるだろうか・・・

そして、そんなことは一年に何回あるだろうか・・・

今年の学校祭は、心から笑って、心が震えました。学校祭は、非日常的な空間であると思います。そんな空間を創り上げてくれた一つ一つを振り返ってみます。

3年生のステージ発表

役者の演技、制作物の出来栄え、ダンス、効果的な照明と音響、そのすべてが一体となって一つのストーリーを創り上げ、ユーモアたっぷり、躍動感あり、そしてパワフルで見るものを楽しませる、そんな心を震わせる舞台でした。

各学年の展示

その作品の完成度の高さに感激するとともに、作品を創り上げる過程で、楽しみながらつくったりする姿、面倒くさいって投げだしそうになったりする姿、ちょっと意見が衝突したりする姿、励まし合ったりする姿などなど、そんな光景が思いだされて、思わずクスって笑ったり、やり通したんだなあーって思ったりしました。

有志企画

熟考に熟考を重ねて企画したものであることがわかります。だからこそ、おもしろかった、楽しめた。それぞれがやりたいことをやり切った、出し切ったって感じました。

美術部の展示

その技術の高さはもちろんなんですが、一人一人の「思い」が見事に表現されていましたね。もはやアーティストです。思わず作品の前に立ち止まって見入ってしまいました。非日常的な空間がそこにはありました。

啓北が誇る合唱

心が震えました。思わず涙がこぼれてしまいました。

決して、技術の高さだけでは、こんなに感動しない。この合唱という一つの作品に「思い」が込められてた。特に3年生、その思いのデカさ、熱量は格別でした。

生徒会執行部の運営

学校祭っていうとんでもない大きい行事の運営を、笑いあり、感動ありの演出で盛り上げてくれました。その企画力と行動力は称賛に値するものでした。

すべてに共通して言えることは「生きる力」を感じたということです。

この生きる力をもっている生徒たち、この生きる力が力強く育っている啓北の生徒たちは、本当に頼もしく、誇らしい生徒たちです。

心から笑い、心が震えた学校祭、まさしく最高の学校祭でした。

私たちがまちをきれいにスーパーヒーロー（清掃活動）

9月24日に、本校の2年生が校区内の清掃活動を行いました。

この活動を行うきっかけとなったのが、道徳の授業です。道徳の中で、自然環境について考えを深めたときに、自分たちにできることはあるだろうか・・・とそれぞれが企画書をまとめました。その企画の一つを取り上げて、社会貢献活動の一つであるまちのごみ拾いを行ったということです。この活動を通して、自分のまちをきれいにしようという意識を高めたり、そのほかの社会貢献活動についても関心が広がったりするなど、学びが深まったという生徒の嬉しい感想がありました。

地域とともに生きる子どもたちです。今後も、まちで会う子供たちにお声をかけていただくなど、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

苫小牧市立啓北中学校長 遠 藤 佳 伸